

じ ぼ さんぶつ 地場産物だより ~いちご~



毎月19日は
食育の日 19

メイドインみやこプロジェクト 2024年4月 No1 みやこ町学校給食小委員会

みやこ町では、学校給食で地産地消（地域でできたものを地域で食べる）に取り組んでいます。生産者の工夫や思いなども地場産物だよりで紹介していきます。みやこ町でできている野菜などを知り、味わって食べてください。

いちご名人 山中 勝也 さん



このハウスのいちごは昨年9月下旬に苗を植えました。12月~5月上旬まで収穫します。

クロマルハナバチ
受粉に欠かせない蜂のお世話もしています。



次のいちごのために
なえ苗づくりを始めています。



いちごの花

山中さんのいちご畑はどこ？
みやこ町勝山池田です。



おいしいいちご作りのコツについて
土耕栽培（土に直接畝を作り、苗を植えて育てる）をしているので、「土づくり」を大切にしています。有機物たっぷりのたい肥を使用して、ふかふかで水はけのよい土を作っています。また、センサーを活用して、気温、湿度、地中温度や二酸化炭素濃度などを把握して、いちごがおいしく育つように環境をコントロールしています。

いちご作りの大変なこと
株の管理や収穫などの作業をする時に姿勢が低くなるため腰への負担がかかります。一人で作業するので大変です。多い時（3月）で、一日に100Kgのいちごを収穫します。



つる部分を挟んですべらし、表面を傷つけないようにやさしく収穫します。

いちごの収穫

山中さんから小学生や中学生のみなさんへのメッセージ

いちごが甘くなるよう一生懸命育てています。味わって食べてくださいね。